

毎週日曜発行
2022 3/6

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

23

みんなは動物が好きかな。今回、話を聞いたのは小野動物病院(仙台市太白区)院長の獣医師小野裕之さん(64)。仙台市獣医師会の会長も務めているよ。

◇
小学生のころの夢は科学者でした。親が共働きで、放課後は家でよく留守番をしていました。親はたくさん本を買ってくれて、家にいる時は本ばかり読んでいました。好きな本に写真や図表がたくさん載った「子どもがたくさん載った」

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

ギターに夢中 懸命に練習

オルガン、ギターを一生懸命練習したせいか、手先は器用な方で、獣医師になってから手術や診療ですごく役に立っています。

の科学」というシリーズがあり、物理、生物、医学など20冊ほど持っていました。何度も読みながら、ぼんやりと科学の世界に憧れを抱いたことを覚えています。

中学に入ると、家にあ



中学生のころ。父がもら

います。

学年で通い始めたオルガン教室。とても楽しかったのですが、男子が一人だったことが恥ずかしくて、6年の時に辞めてしまいました。

った兄のギターを弾き始めました。最初はクラシックを演奏し、ラジオの深夜放送で洋楽を聴くようになると、「プログレッシブロック」と呼ばれる分野のロックに夢中になりました。高校ではギター部に入りました。



人と動物はお互いさまの関係です。動物を助けることは人を助けることにつながり、人を助けることが動物を助けることにもなります。心が通じ合う人と動物は家族そのもの。そんな生活をお手伝いできる獣医師は、やりがいのある仕事だと思います。



小野 裕之さん(64歳・獣医師)

おの・ひろゆき 仙台市太白区出身。東長町小、郡山中、仙台二高、岩手大農学部獣医学科卒。これまで飼ったペットは犬6頭、猫8匹(びき)。

ってきた犬で、数年で病気で死んでしまいました。一緒に暮らしていたので、かわいそうだなと思いましたが、当時は獣医師になって病気の犬を助けたいという気持ちにはなりませんでした。獣医師を志したのは、高校時代に進学先を決める時です。まだ獣医師は珍しい存在で、そこに魅力を感じました。大学に入って動物に接するようになって、どんどん動物が好きになりました。

今週の注目ニュース

◇11日(金) 東日本大震災から11年
東日本大震災の発生から11年を迎えるね。国の追悼式は震災10年の昨年が最後となったけど、犠牲になった人たちの冥福を祈る大切な日だよ。みんなも震災や防災について家族や友達と考える日にしよう。

きょうの紙面

- 2面 ホップ・ステップ・プログラミング
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー